

平成21年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1474200183	事業の開始年月日	平成12年10月1日	
		指定年月日	平成12年10月1日	
法人名	特定非営利活動法人認知症対応型共同生活介護グリーンハウス			
事業所名	グループホーム グリーンハウス			
所在地	(234-0433) 神奈川県海老名市河原口2379-3			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	9名	
		ユニット数	1ユニット	
自己評価作成日	平成22年2月18日	評価結果 市町村受理日	平成22年6月3日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1474200183&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、小田急線、JR相模線の厚木駅から徒歩で5分ほどの相模川の河川敷を望む散歩道沿いにあり、広い庭のある家でいろいろな季節の楽しみが感じられます。また食事は支度から利用者に参加してもらい、作る楽しさと食事の楽しさを感じていただいています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ヌグ双ファースト 3階		
訪問調査日	平成22年3月23日	評価機関 評価決定日	平成22年5月3日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

JR相模線・小田急線厚木駅より徒歩7分、相模川沿い幹線道路43号線の近くにあり、相模川や丹沢の山々を望み、2階建ての民家を改築した和室・洋室仕様の1ユニットで庭の広い住宅です。2階は広いベランダや居間・食堂があり、利用者の憩いの場です。階段は手すりや昇降機を利用しています。

理念の「各人が役割を持つ」これは、利用者の方が毎日当番の役割を持ち、毎朝その日の気象情報や気温、3種類の格言を読み細かい字で書かれている意味は職員が伝えていきます。調理の下準備は毎日4~5人1グループの交替制で職員の声かけを受けながら段取りにそって切り分けるなど一緒に行っています。食事前後の挨拶、花の手入れ、口腔体操、歌やゲーム、散歩、利用者自身がリハビリ計画を立て、実行されると印をつける等、それぞれの利用者の持てる力を保てるよう状況に応じたさり気ない一声や手を添えて支援に努めています。居室には手作りの額にそれぞれの役割に感謝された感謝状が掲示されています。

2階のカウンターには、居室とトイレに連携したセンサーの設置と夜勤者には利用者の動態(夜間のトイレや要望)を把握できるように携帯用を保持しています。夜間勤務の男性3人がボランティアで蕎麦うち会を創り、年3回利用者にふるまっています。利用者は民家の住宅様式と職員の支援によって家庭的な雰囲気、満足と安心感のある日常生活を送っています。家族の声からも満足度が高い事が伺えます。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム グリーンハウス
ユニット名	グリーンハウス

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	レ	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	レ	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	レ	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	レ	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	レ	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	レ	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を掲げて職員で共有し、その実践に努めている。	ホーム長が設立時に「人格の尊重・各人が役割を持つこと・家庭的な雰囲気」モットー” 明るい笑顔こそ最高の良薬 ”を玄関や食堂へ掲示しています。毎日のミーティングで確認し、共有しています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、回覧板等で地域行事等確認する。又、ペットボトルの蓋を収集しリサイクルとして地域活動に参加している。	自治会に加入し、回覧等がまわってきますが、地域との関わりについては検討中で、まだ積極的に関わるまでには至っていません。	具体的な交流に繋がるよう期待されます。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	普段の散歩などで地域住民との交流をはかり、理解をすすめている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を実施し、意見を反映するように検討している。	今年度は開催することが出来ませんでした。平成22年度は運営推進会議を開催する予定です。	地域との関わりを強化し、安心安全の協力関係を築く為にも定期的な運営推進会議を開催し、運営に活かす事が期待されます。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	疑問点などがあった場合は、気軽に連絡や相談に対応していただいている。	市の担当課には事務的な関係についても連絡を取り、「安心センター」には身寄りの無い方の会計管理を依頼しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員ミーティングで身体拘束について話し合いを持っている。玄関については施錠している。</p>	<p>年1回、全職員参加による内部研修を実施しています。玄関は交通量の多い幹線道路があるため施錠しています。徐々に開錠する予定です。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>入浴時に身体の傷やあざに注意し、職員ミーティングで報告するように努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>ミーティングで話し合う機会を設けている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に契約書の説明を十分にし、疑問点などはその時点で受けるようにしている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>行事に家族にも参加していただき、普段から意見をしやすい環境作りをしている。</p>	<p>家族は月1回は来訪し、各行事にもよく参加しています。そのときに意見等や要望を聴いています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の定例ミーティングにて意見交換し、運営に反映するようにしている。	毎月第2水曜日の定例会には事前に要望等をメモで提出して意見交換をしています。全職員が役割分担をして運営に携わっています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	普段から職員の意見等に注意し、運営に反映させるなどして職員が向上心を持てるように努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県主催の研修に交代で参加し、ミーティングで報告するようにして2次研修している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣地域のグループホーム協議会に所属し、相互研修など、交流をはかっている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーションをとりながら本人の要望等を聞き出すように努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>必要に応じて聞き取るようにしてサービス計画に反映するようにしている。それをミーティングで報告して職員一同の意識の統一を図っている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用開始時に家族に状況や要望等をアンケート形式で回答してもらい、それをもとに適切なサービスのあり方について家族も含めて検討するようにしている。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>共同生活の場として各人が役割を持ち、相互関係を築いている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>普段から家族との連携を密にするようにしており、家族がつきそう外出などを盛んにしていただいている。ホーム行事にも積極的に参加していただくようお願いしている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者の友人や家族の話題をよく聞いてあげる。面会や外出等を自由にしていただき、交流が途切れないようにしている。</p>	<p>鍼灸や病院、墓参り等は家族対応で外出してます。友人が訪ねてきたり、車椅子の方が馴染みの地域の中へ買い物へ出かけています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	午前中は全体レクリエーションすることが定着しており、個人の自由な時間と他の人との交流できる時間とのバランスがとれるように努めている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族から相談があった場合に対応するようにしている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	サービス計画に反映し、ミーティングで検討している。	センター方式を利用して「私の基本情報センター」と心身情報「私の姿と気持ちシート」を活用して、日常のケアの中で希望を聞いて把握をしています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族にアンケート形式でこれまでの経過をまとめていただくようにしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日誌に時間別に記録し、職員全員が把握できるようにしている。特に重要な点は月ごとのミーティングで全員で検討している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族や職員等の意見が反映され、現状に即した介護計画を、文書やミーティングでケアマネにより伝えられている。	個別経過記録や往診の結果、服薬、看護師、医師の指示や職員・家族等の意見や記録を基に介護計画書を作成しています。また、3ヶ月・6ヶ月毎に見直し現状に即した計画を作成しています。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画を添付した個別記録を記録し、職員間で共有している。その記録を反映して新しい介護計画を作成している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問マッサージの導入など、ニーズに対応した柔軟な支援を心がけて実践している。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会に所属し、機材の貸し出しなどを協力してもらっているが、地域行事への参加などはしていない。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関の定期検診を受けており、その他に専門医療機関の受診の希望がある場合は家族に協力していただいている。	入居前からのかかりつけ医へ通院している方もいます。歯科医は月2回の往診があり、家族の了解を得て治療や入れ歯等、全利用者が受診をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>月2回の内科・歯科の訪問医に検診を受けており、現状や気になる点を伝えて適切な指示を受けるようにしている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には介護記録を病院側に提出している。退院時は医療診察情報を提供してもらい、スムーズな連携がとれるようにしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族には事前に説明して理解していただくようにしている。</p>	<p>入居時に利用者の容態が進行した場合の対応についてその都度、今後の方針の意向を伺い調整しています。</p>	<p>ホームとして「看取りに関する指針」を作成され家族、利用者、職員が共有されることが期待されます。</p>
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署に要請して救急訓練を実施している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年数回、ホーム内の避難訓練や通報訓練を実施している。</p>	<p>平成21年12月、利用者全員の参加で防災避難訓練を実施しました。災害における備蓄もされています。</p>	<p>地域の協力が得られるように検討されることが期待されます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理解することを重視したサービスを心がけている。	職員は利用者の話をよく聞き、利用者寄り添って、思いを受け止めることを心がけており、丁寧な言葉遣いと、誇りを損ねない対応に留意しています。個人情報に係る書類は、事務室内に鍵をかけて保管しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	受容を優先しながら「待つ」ということを心がけ、働きかけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自由時間が多くあり、自分のペースで過ごしていただくように心がけている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時の服選びやお化粧などを楽しめる方もいて、職員もそれを支援している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の支度は手分けして材料の準備作業をしている。食後は自分の分の片付け・食器の洗いをしていただいている。	昼食の準備に利用者全員が交替で食材のカットや配膳を手伝います。食材は業者から毎日配送され、職員が交代で調理を担当しています。月2～3回の行事食や、月に1度の外食を行い、楽しみや変化のある食事を心がけています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一覧表を作成・記録して状況を把握できるようにしている。栄養バランスについては栄養士の作成した食材を使用している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食事後、声かけして歯磨きをしている。入れ歯は外して置き場所を決めておき、入れ歯洗浄剤を使用している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>各人別の記録に合わせてトイレ誘導している。おむつの導入は状況を見て使用しないですむように工夫している。</p>	<p>利用者の半数以上は排泄に介助が必要です。各自のパターンを把握して誘導し、ベッド脇にセンサーを取りつけるなどの工夫をしています。おむつからリハビリパンツ、さらに布のパンツを使用するように取り組んでいます。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>体操や散歩など通じて便秘になりにくいように工夫している。また、お茶以外の嗜好飲料（コーヒー、紅茶、ハチミツ茶等）の水分補給に努めている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴は本人の希望を取り入れた週間計画に沿って行っている。入浴時間について利用者からの要望・苦情等はない。</p>	<p>入浴は週に2回が原則で、水曜日を除く毎日午後実施しています。入浴に関しては4人が自立、他は介助が必要で、車いすの利用者もシュミレーションを行って、安心して入浴できるよう支援しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温の調節など、一人一人の要望に添って対応しながら、安心して入眠できるように支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を個人記録ノートに添付し把握できるように努めている。変更が生じた場合にはスタッフ間で口頭又は記録によって伝達している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割分担を決めて取り組んでいただいている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に散歩に出かけている。また、毎月外食にホーム全員で出かけている。他には家族による連れだしを自由に行っている。	相模川に面した場所にあり、前の河原や近所の馴染みの店などに毎日出かけるようにしています。毎月の外食は楽しみの1つで、その他にも花見、納涼、敬老会、誕生会など生活に変化を与える工夫をしています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	各人が自由に使える小遣いと小遣い帳を置き、用途を明確にして希望に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者で進んで書くことができない方にはなるべくペンをもってもらうようにして手紙を書いたりしている。電話は本人の要請により自由にかけてもらっている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じられるような作品作りに協力し、居間等に展示している。行事の写真なども展示している。	2階は広いベランダ・自然採光で明るい居間・食堂が憩いの場です。壁は絵・習字・行事写真・季節感の装飾利用者の手がけた蘭の鉢植えやソファ等が配置されています。階段は手すりと昇降機があり職員が誘導します。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日当たりのよいところにソファを置き、団らんの場所になっている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と相談してなじみの家具・写真などを部屋に置いている。	1室当たりの面積は平均9.72㎡で、洋室も畳の部屋もありますが、どの部屋も落ち着いた配置です。仏壇、タンス、家具、写真、絵画など馴染みのものを持ち込んで、居心地よく暮らしています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各自室の片付け・衣類の整理を自分でしていただき、後は職員がフォローしている。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域との積極的な関わりが持てていない	地域との顔馴染みの関係作りに取り組む	9月開催の市民音楽祭にGHえがおと共に参加する。事業所は運営会議に出席し、利用者全員、えがおさんと一緒に歌の練習に励んでいる。家族も楽しみにしている。	6ヶ月
2				ホームの近くにある、河の手ギャラリーでは、七夕に利用者の願い事や折り紙と一緒に飾って下さるとの事で、いただいた短冊や折り紙を全員で作成している。	2ヶ月
3				広報紙を作成し、自治会や関係者に配布して、ホームの事を知っていただく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。